

『冬の友』って…？

～充実した冬休みを過ごすために～



『冬の友』は、戦後より『夏の友』と同じように、冬休みの計画的な生活や冬休みのガイドブックとして、岐阜県の教師の力によって編集・出版されてきました。お父さん、お母さん、おじいさんもおばあさんも使われたことがあるかもしれません。『冬の友』は、冬休みに子供たちが豊かな体験や新たな興味関心を深めることを願って編集しました。『冬の友』を活用して、お子さんと一緒に冬休みを楽しく過ごしてください。

『冬の友』が届いたら、お子さんと一緒に目を通しましょう。

- ・まず、どんな内容があるのか、じっくり目を通してください。
- ・お子さんにも、目を通す時間を作ってあげてください。
- ・ご自身が小学生だったころの冬休みの様子を話してあげてください。
- ・『冬の友』を使った経験があれば、そのことも話してあげてください。

『冬の友』を使って、冬休みの計画を立てましょう。

- ・まず、目次をご覧ください。
- ・読むところ、体験するところを決めてはどうでしょう。
- ・低学年のお子さんは一緒に計画を立てるのもよいでしょう。

『冬の友』を使って、一緒に遊んだり体験したりしましょう。

- ・一緒に遊んだり、体験の手助けをしてあげたりしてください。

『冬の友』で冬休みのふり返りをしましょう。

- ・冬休みの終わりに、家族で『冬の友』を見て、冬休みの取り組みをふり返ってみましょう。
- ・新しい年への願いなどを家族みんなで話し合しましょう。



表紙で楽しく遊んだよ!

表紙とふろくで楽しく遊んだという子供たちがたくさんいました。家族と一緒に作ったり、遊んだりしたようです。ぜひ、お子さんと一緒に遊んでみてください。



版画に挑戦してみましょう

岐阜県小中学校長会では、はがき版画コンクールを実施しています。はがき版画のページを参考にして、版画に挑戦し、ぜひコンクールに応募してください。

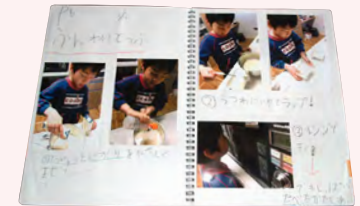


『冬の友』を楽しく使いましょう!

小学校1年生の男の子が『冬の友』を上手に使って楽しい冬休みを過ごしました。記録したノートには、『冬の友』を参考にした楽しい体験の様子がまとめられていました。

このように『冬の友』を有効に活用して、子供たちが楽しく充実した毎日を過ごしてくれることを願っています。

おうちの方も『冬の友』と一緒に見て、関わっていただけるようお願いいたします。



表紙で遊ぼう

『冬の友』の表紙は、日本の遊びなど伝承遊びを伝えたいと願って制作しています。お子さんが家族や友達と楽しく遊ぶ時間はとても大切です。ぜひ一緒に作ったり遊んだりして、楽しい時間を過ごしてください。

- 1年 ぶくわらい
- 2年 オセロ
- 3年 すごろく
- 4年 ことわざ遊び
- 5年 名産物カード
- 6年 対戦ゲーム



お話の国からおめでとう

「お話の国からおめでとう」は、実際に国語の教科書に掲載されている作品の作者に書いていただいたものです。じっくり読めるといいですね。そして、新しい年、自分はどんな一年にしたいかを話題にしてみましょう。家族みんなで話し合うのもいいですね。



冬の体験

「冬の科学」「作って食べよう」のコーナーでは、お子さんが冬に体験できそうな内容を掲載しました。ご家族で体験してみてください。

「健康」のコーナーでは、健康な生活を送るためのアドバイスを掲載しています。



読書

「読書」コーナーでは、物語だけではなく、知識を広げるいろいろなジャンルの本や新しく出版された本を紹介しています。お子さんの本選びの参考にしてください。

読み聞かせをしたり、親子で同じ本を読んだりして、親子で楽しい読書の時間を過ごしてください。

※岐阜県小中学校長会のホームページでは、1～6年の『冬の友』で紹介した本のリストを掲載しています。



ふるさとを知ろう

豊かな心を育むためには、家庭や地域社会において、豊かな経験を積み重ねていくことが大切です。そこで、県内各地で行われている新年を迎える伝統行事やお正月の行事、冬の気候を生かした生活などを紹介しました。ふるさと岐阜を学ぶことで、郷土に愛着をもつ子に育ってほしいと願っています。

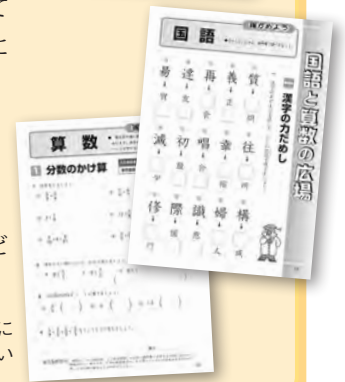


国語と算数の広場

「国語と算数の広場」は、「これだけはどの子にも理解してほしい」という問題を掲載しています。これまでの学習が身についているか確かめに使ってください。

- ・まとめてやるのではなく、計画的に取り組ませてください。
- ・必ず答え合わせをして、できたかどうか確認してください。低学年は親子で一緒に答え合わせをしてください。
- ・できなかったところや、わからなかったところは教科書などで調べ、繰り返し学習するようにしてください。

※算数は「大日本図書」と「東京書籍」の2社の教科書で学習する内容に合わせて問題が作ってあります。片方の教科書では、まだ習っていない単元も含まれていますので習ってから取り組んでください。



SDGsについて考えよう

美しい地球を守るために、行われているいろいろな取り組みを紹介しています。じっくり読ませて、自分たちには何ができるのか親子で話し合ってみてください。

